

3. ネットワークにつながるデジタル家電

3 - 1 通信機能を装備する

*1
家電製品：家庭用電気製品全体を指す。機器を「セット」ということもある。一般に、カラーテレビやDVD、オーディオ機器などの「民生用電子機器」をいう。
かつて、外観の色が茶色だったことから「ブラウングズ」（茶モノ）ともいう。
これに対して、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、炊飯器などは「白モノ」または「電気機器」という。

(1) デジタル化が急激に進む

AV (Audio Visual) 機器の世界需要は全体として微増傾向にある(図3-3-1)。一方で、機器のデジタル化が加速、さらに高画質・高音質になり、新しい機能が付加される。同時に、AV情報もデジタル化し、ネットワークによるコンテンツの配信などが進み、ITと融合する。

とくに、家電製品 *1はHDMI *2、IEEE1394、USBといった通信インタフェースに加え、有線・無線LAN、ECHONET *3などとのインタフェースも搭載する。この結果、AV機器やパソコンなどを含めたホームネットワークに組み込まれるようにな

る(図3-3-2)。

このため、多くの家電製品は、制御用のマイクロコントローラ、映像・音声信号処理回路、メモリ、通信処理回路などが組み込まれた大規模なシステムLSIを搭載する。

エレクトロニクス業界は、これまで機器の付加価値、性能を高めることにより半導体の成長を確保してきた。今後は、デジタル機器をネットワークにつなぎ新たな価値を創造する。こういったデジタル化、ネットワーク化で半導体の新たな需要が生まれる。

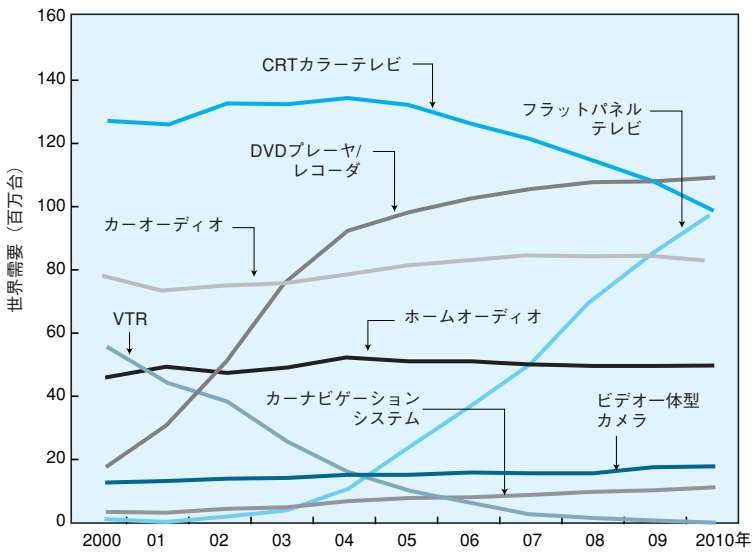
(2) 新しい市場を開拓

国内の家電 *1市場は、いわゆる成熟市場で、買い替え需要が多いといわれてきた。しかし、デジタル化によって、新たな市場を掘り起こしている。

家庭内で高品位のハイビジョン(HDTV)映像が楽しめる大画面のフラットテレビ、長時間の録画が可能なDVD、大幅に節水を実現した洗濯機や食器洗い機、容易に写せるデジタルカメラなど、魅力的な新製品が数多く登場している。

それと同時に、ネットワーク化が進み、ここでも新たな市場を創出している。まず、AV機器のデジタル化によって、ホームネットワークが進む。ハイビジョン画像が受信できる家庭のテレビを中心に、周辺には大容量ハードディスク(HDD)内蔵

図3-3-1 AV (Audio Visual) 製品の世界需要予測



出所：JEITA, 『AV 主要品目世界需要予測』, 2006 年 2 月